

「大阪府における都市計画のあり方」  
資料集

## 目 次

### 1. 大阪の現状と課題

#### (1) 都市を取りまく社会状況の変化

- ① 日本全体の人口減少と世界人口の急増..... 1
- ② 家族形態の多様化とライフスタイルの変化..... 4

#### (2) 大阪の強み・長所

- ① 関西全体で先進国一国に匹敵する人口・経済規模..... 8
- ② 世界標準のインフラ..... 9
- ③ 環境・新エネルギー産業の集積..... 10
- ④ 健康・医療研究機関の集積..... 11
- ⑤ 高い技術をもつものづくり中小企業の集積..... 12
- ⑥ 豊富な歴史・文化等の観光資源..... 13
- ⑦ 都市と自然との近接性..... 14

#### (3) 大阪の弱み・短所

- ① 海外とのアクセス性の悪さ..... 16
- ② 環状道路の整備の遅れ..... 18
- ③ 外国人の受入環境水準の低さ..... 19
- ④ 産業構造転換の遅れ..... 20
- ⑤ 企業本社および工場の流出..... 21
- ⑥ 自然災害に対する脆弱性..... 22
- ⑦ 都市におけるみどり不足..... 23
- ⑧ 女性の就業率の低さ..... 24

### 3. 大阪の都市構造と今後の都市づくりの基本的な考え方

#### (1) 大阪の都市構造上の特徴

- ① 自然環境..... 25
- ② 土地利用・市街地..... 25
- ③ 都市施設..... 27
- ④ 人の動き..... 28

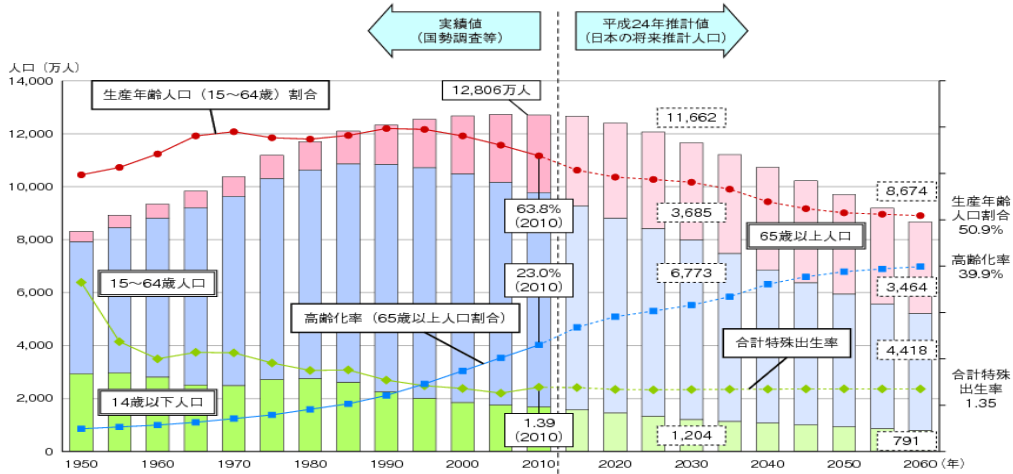
# 1. 大阪の現状と課題

## (1) 都市を取りまく社会状況の変化

### ① 日本全体の人口減少と世界人口の急増

日本の総人口は平成 20 年（2008 年）をピークに減少に転じている。また、大阪府でも平成 24 年（2012 年）に人口減少局面に入ったと考えられ、平成 52 年（2040 年）には、ピーク時より 137 万人減少し 750 万人と予測されている。

日本の人口の推移と将来推計



出典：総務省「国勢調査」及び「人口推計」、  
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 24 年 1 月推計）：出生中位・死亡中位推計」（各年 10 月 1 日現在人口）、厚生労働省「人口動態統計」

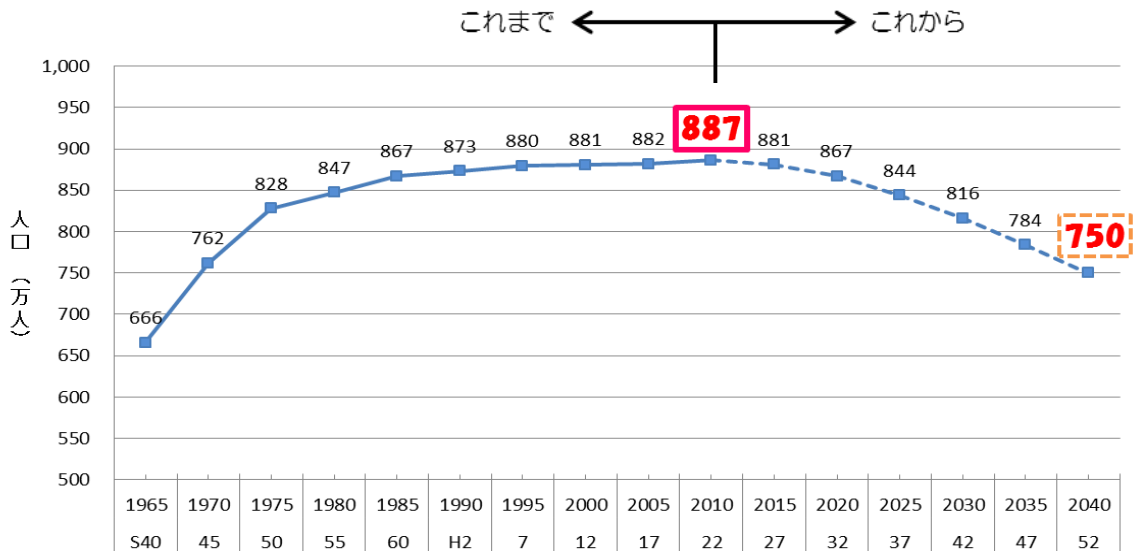
日本・大阪の人口推移の比較

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
日本	127,768	127,901	128,033	128,084	128,032	128,057	127,799	127,515	127,298	127,083
大阪	8,817	8,828	8,839	8,850	8,862	8,865	8,865	8,863	8,860	8,551

(千人)

出典：総務省統計局「人口推計」、  
 大阪府統計課 推計人口（年報）（各年 10 月 1 日現在人口）

大阪の人口の推移と将来推計

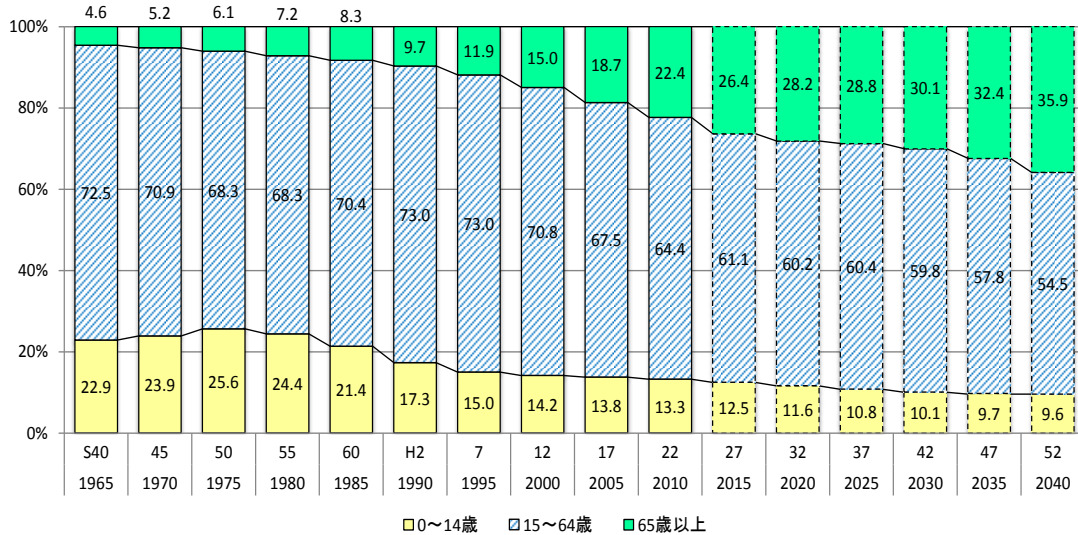


出典：大阪府人口減少白書（H26.6）

大阪府の世代別人口の構成比のうち、65歳以上の割合は平成22年(2010年)の22.4%から20年後の平成42年(2030年)には30%を超えると予測されている。

また、生産年齢人口(15~64歳)の割合は平成22年(2010年)の64.4%から平成42年(2030年)には60%を下回ると予想されている。

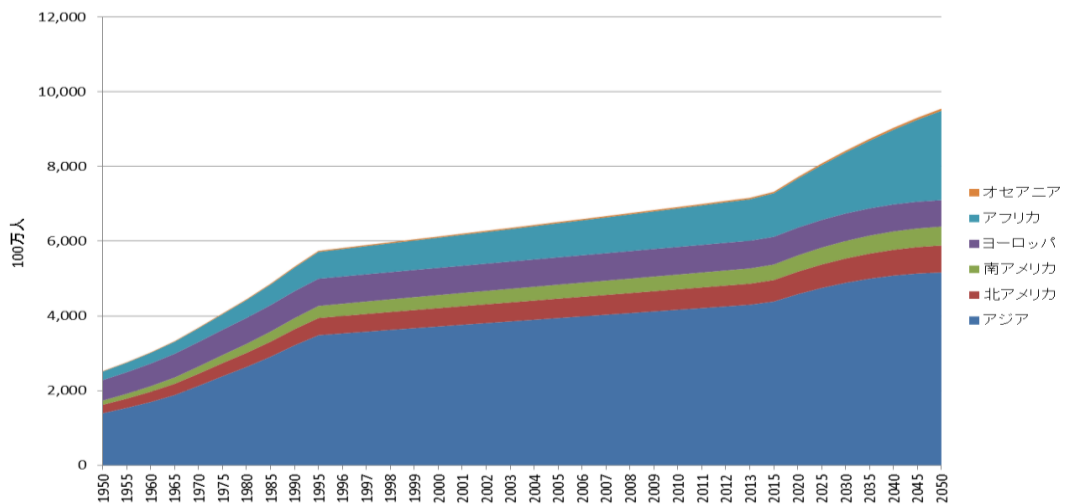
### 大阪府の世代別人口の構成比の推移と将来推計



出典：大阪府人口減少白書 (H26. 6)

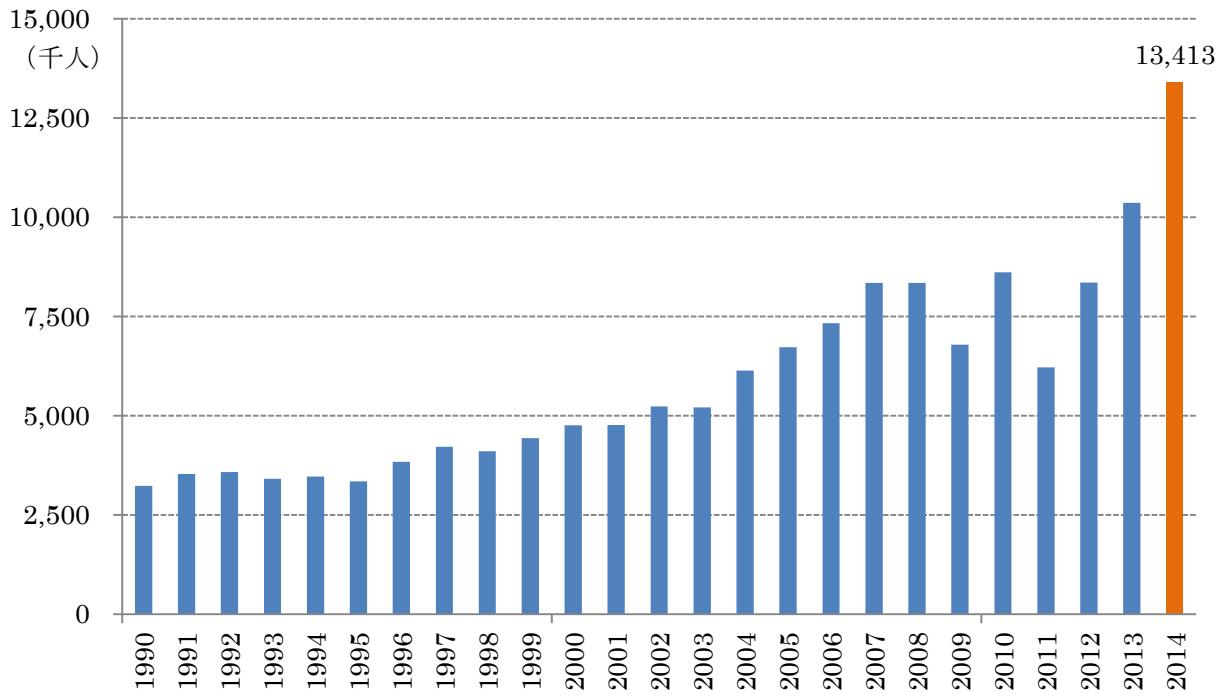
平成24年(2012年)に72億人の世界人口は、新興国の更なる成長等により今後も増え続け、平成62年(2050年)には96億人に達すると予測されている。また、平成26年(2014年)の訪日外国人数が1300万人を超え、この10年で倍増している。

### 世界の人口の推移と将来推計



出典：United Nations (国際連合)

# 訪日外国人数

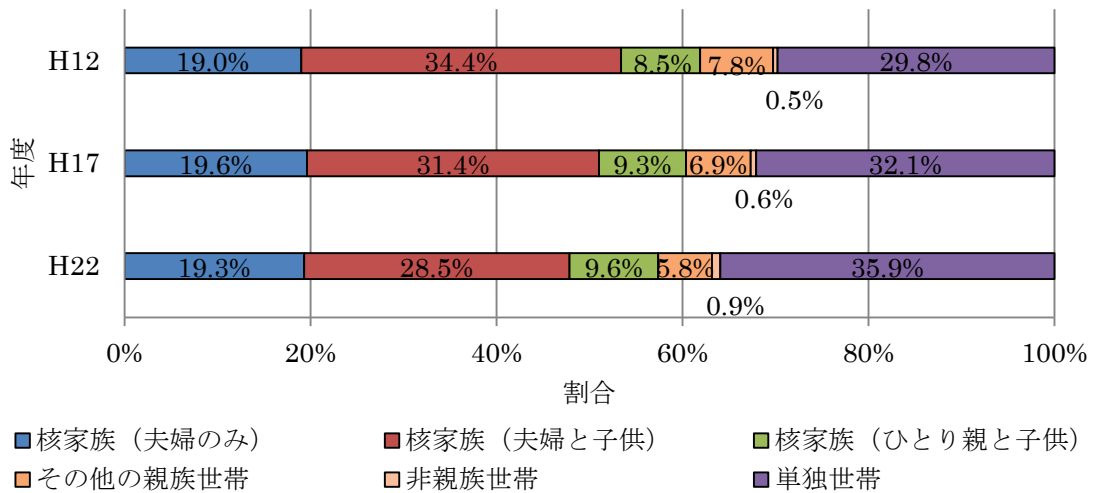


出典：日本政府観光局 (JNTO) 訪日外客数の動向

## ② 家族形態の多様化とライフスタイルの変化

これまで、世帯の3割以上を占めていた夫婦と子供の核家族世帯が減少し、単独世帯やひとり親世帯が増加するなど、家族構成が多様化している。

世帯の家族類型別一般世帯数の推移

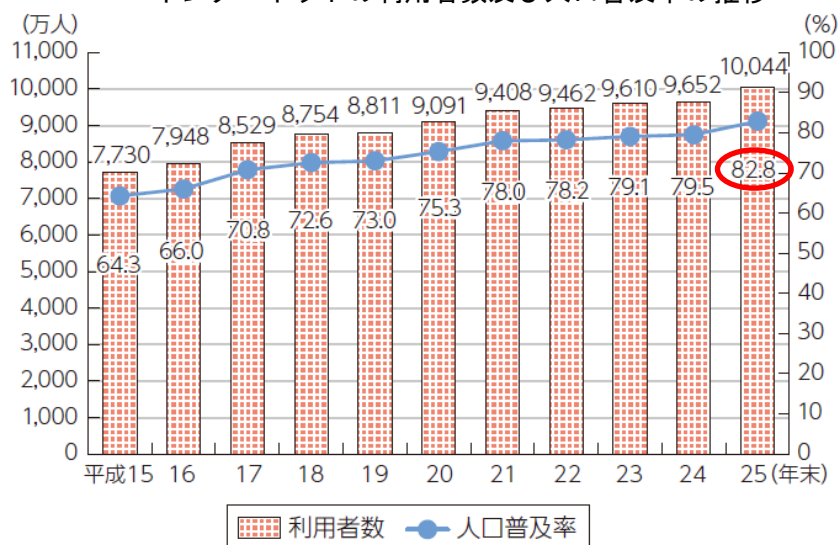


- ・ 親族世帯：二人以上の世帯員で、世帯主と親族関係にある世帯員のみからなる世帯
- ・ 非親族を含む世帯：二人以上の世帯員で、世帯主と親族関係にない人がいる世帯
- ・ 単独世帯：世帯員が一人の世帯

出典：大阪府 HP 大阪府総務部統計課 H22 国勢調査人口等基本集計結果

スマートフォンやタブレットが急速に普及し、インターネットの人口普及率が8割を超えるなど、ICTの進化により情報収集、コミュニケーション、買い物などのあり方が大きく変化している。また、個人宅配の増加により、物流にも大きな影響を与えている。

インターネットの利用者数及び人口普及率の推移

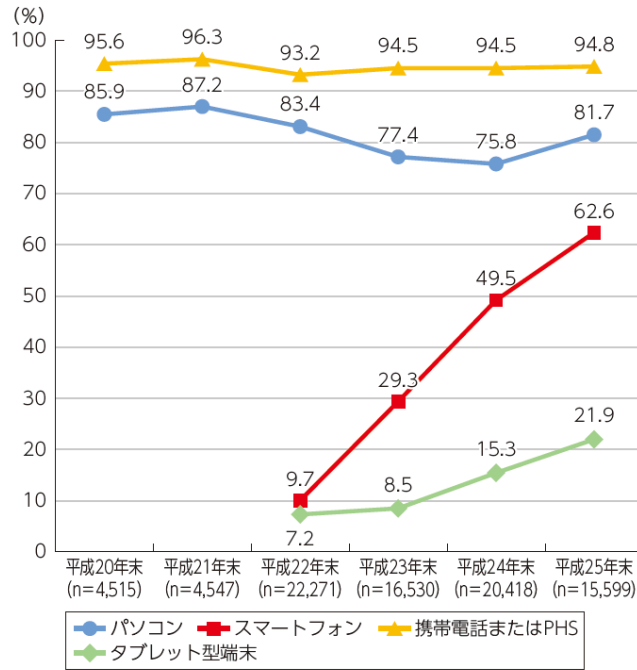


(出典) 総務省「平成25年通信利用動向調査」

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/statistics/statistics05.html>

出典：総務省「平成26年版情報通信白書」

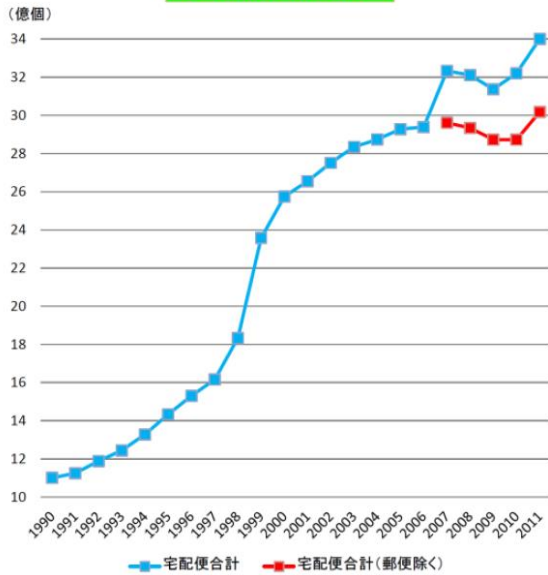
主な情報通信機器の世帯保有状況（平成 20～25 年）



(出典) 総務省「平成25年通信利用動向調査」

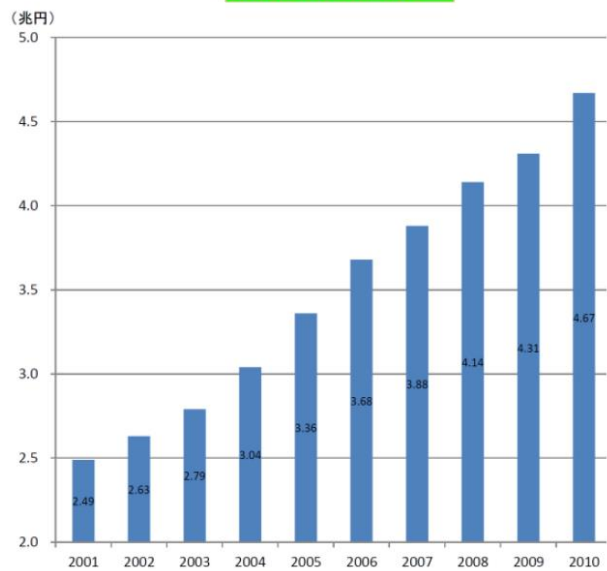
出典：総務省「平成 26 年版情報通信白書」

宅配便取扱個数の推移



出典：国土交通省平成23年度宅配便等取扱実績関係資料  
注：2007年度から郵便事業(株)の取扱個数も計上している

通販市場の売上高推移

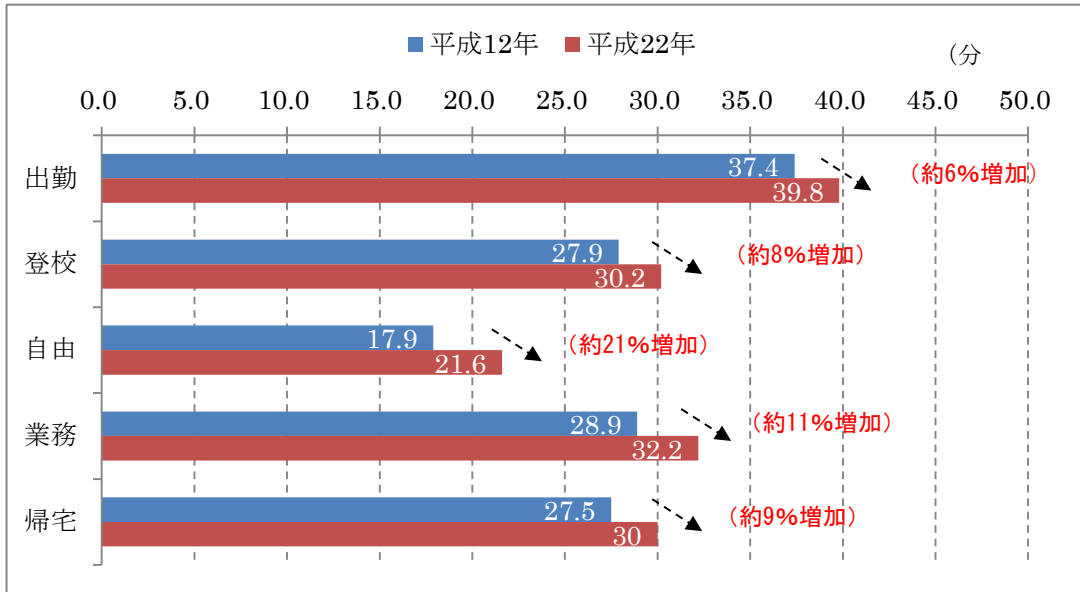


出典：公益社団法人日本通信販売協会「2010年度通販市場売上高調査」

出典：第 1 回新しい総合物流施策大綱の策定に向けた有識者検討委員会資料（H24.11.6）

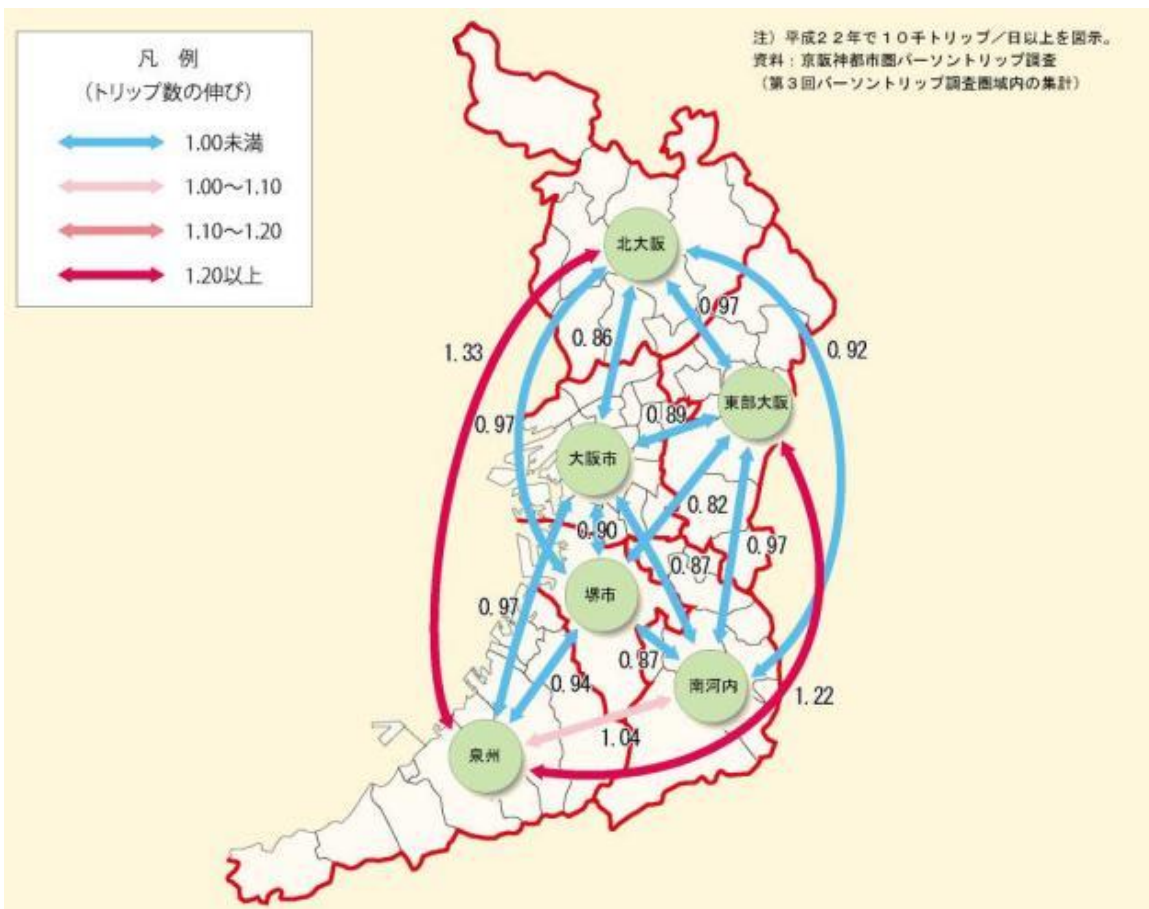
平成 22 年（2010 年）のパーソントリップ調査結果によると、移動割合は地域内が低く、地域間が高くなり、また、トリップあたりの移動時間も長くなっている。

### 平成 12 年～平成 22 年 目的別平均移動時間の推移（平日）



出典：大阪府 HP 大阪府道路整備課 「大阪府における人の動き」

### 平成 12 年～平成 22 年 地域間トリップ数の伸び（平日）



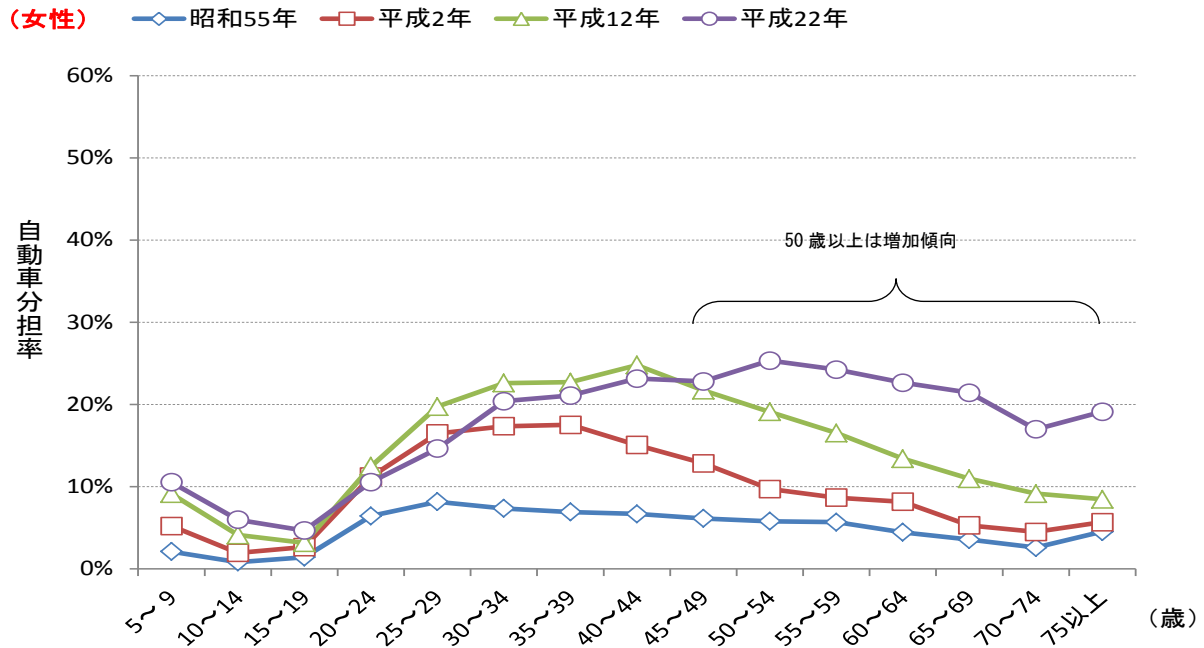
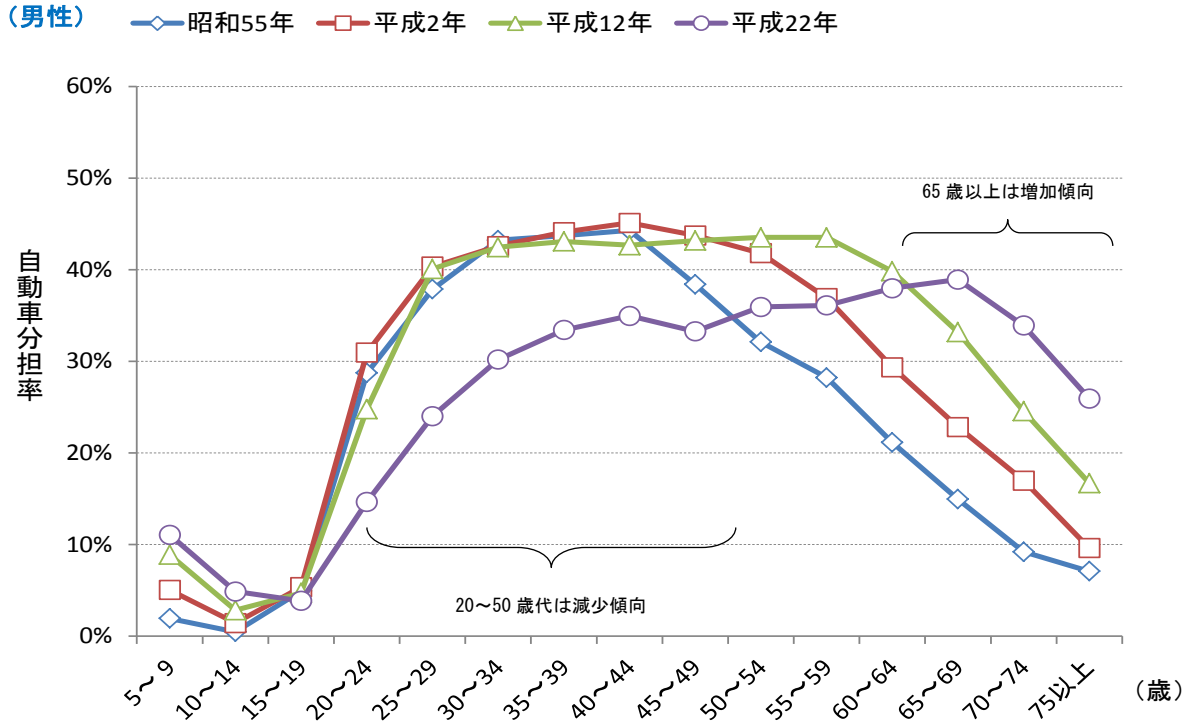
出典：大阪府道路整備課

「大阪府における人の動き 平成 22 年第 5 回近畿圏パーソントリップ調査集計結果から」



男性の20～40歳代の自動車分担率が大きく減少するなど、移動手段にも変化が見られる。

### 自動車分担率



出典：大阪府における人の動き平成22年 第5回近畿圏パーソントリップ調査集計結果